

【施設状況】

グループ名称	長野市芸術館									
指定管理者名	一般財団法人長野市文化芸術振興財団						法人番号	2100005011344		
所管課	主	150500	文化芸術課	副						
構成施設	15056	長野市芸術館								
施設分類	02	施設貸出1型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	メインホール1,292席(小楽屋×2、中楽屋×5、大楽屋×2)、リサイタルホール293席(小楽屋×1、中楽屋×2)、アクトスペース230席(中楽屋×2)、展示サロン、バンド練習室×3、音楽練習室×2、演劇練習室×2、リハーサル室、アトリエ、ミーティングルーム、情報ライブラリー・チケットセンター									
施設設置目的	文化芸術活動の場を提供すること等により、創造的で多様な文化芸術活動を促進し、もって文化力あふれるまちづくりに資する。									
基本方針等	「育む・楽しむ・創る・つなぐ」の4つの役割のもと、長野市芸術館が目指す基本方針 ・市民が日常的に多様な文化芸術に出会う機会の創出 ・子どもたちを始めとするすべての世代が良質な舞台芸術に触れ、豊かな心を育む機会の創出 ・市民自らが「長野らしさ」を見出し、育む機会の創出 ・市民が芸術館に集い、出会い、心を通わせる、多様な交流機会の創出									
主な実施事業	【貸館業務等】メインホール、リサイタルホール、アクトスペース、リハーサル室、各種練習室等の貸館業務、チケット販売、広報事業等 【市指定事業】■有料公演事業20事業、37公演を企画 ■通年・その他事業 長野市芸術館ジュニア合唱団の運営、お届け芸術館、学校訪問コンサート、NAGANO12訪問コンサート、ランチ・タイム・コンサート、市役所ロビー・コンサート、ステージ体感プラン 他									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		一般財団法人長野市文化芸術振興財団				当該指定管理者の 指定回数		3 回			
指定期間		令和6年4月1日		～	令和11年3月31日		5年	当該指定管理者の 管理運営開始日		平成27年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。										評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)										3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	利用者総数(館全体)	人	158,657	166,350	169,923	178,900	105%	
	[内訳] メインホール	人	90,024	82,500	89,007	97,847	110%	
	リサイタルホール	人	22,788	25,607	25,494	23,857	94%	
	アクトスペース	人	14,806	17,712	16,188	15,225	94%	
	練習室等	人	31,039	40,531	39,234	41,971	107%	
	稼働率(館全体)	%	75	74	75	75	100%	
	施設等利用料収入 (特記事項)	円	63,565,110	64,840,125	60,509,170	65,202,130	108%	
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・芸術館の利用許可に関する業務 ・芸術館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・文化芸術に関する公演等の企画及び実施に関する業務 ・施設、附属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・利用料金の収受に関する業務						
	自主事業	・コピーサービス						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		■Facebookフォロワー数 3,018人(前年2,975人) ■ホームページ閲覧数 764,514回(前年700,493回) ■Twitterフォロワー数 1,466人(前年1,367人) ■You Tube チャンネル登録者数 1,030人(前年987人)						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		
	(2) 調査、会議等の内容 ・主催公演来場者へアンケートを実施 回答総数4,048件、回収率38.3%			
	(3) 調査、会議等の結果 アンケートの指摘事項は、館の運営に反映している。			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 【主催公演アンケート結果より】 ・このプログラムでほぼ満席になり、クラシックに対する長野市のレベルが上がった。(鈴木優人(指揮)× 村治佳織(ギター)× 読売日本交響楽団) ・東京まででかけなくても生のよい演奏に出会えます。また来年楽しみにしています。(ジャズ・フェスティバル2025) ・公演時間も子供がいきなり長すぎずプログラムの順番も子供から大人まで知ってる曲を間々にはさんであって最後まで楽しめました。(音楽の絵本 CALYPSO カリプソ) ・アクトスペースでの演出が、とてもうまくできていて、ジャズクラブに聴きに来ているようでした。コンパクトなスペースで、演者の近くで音楽を聴けて、最高でした。(ジェイコブ・コーラー ソロピアノ JAZZ コンサート)			3
	(2) 苦情・改善等の要望事項			
	《対応措置》			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価				
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)			
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額		
事業収支 (単位:円)	指定事業	利用料金	58,000,000	利用料金	65,202,130	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	199,556	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	173,336	4		
		指定管理料	335,000,000	指定管理料	335,000,000		貸付料		貸付料				
		委託料	4,999,000	委託料	5,199,136		その他		その他				
		販売収入等	45,174,000	販売収入等	46,741,630		利益配分	3,438,000	利益配分	6,342,000			
		その他収入	25,238,000	その他収入	6,763,081		光熱水費	33,835,911	光熱水費	32,651,541			
		協賛金	22,200,000	協賛金	24,778,600		計	37,473,467	計	39,166,877			
		収入計	490,611,000	収入計	483,684,577								
		人件費	160,862,733	人件費	158,315,564	歳出	指定管理料	335,000,000	指定管理料	325,000,000			
		設備管理費	114,156,153	設備管理費	111,865,475		委託料	7,424,450	委託料	706,300			
		備品購入費	479,600	備品購入費	0		需用費	35,140,678	需用費	33,017,974			
		修繕費	4,600,000	修繕費	3,727,297		役務費		役務費				
		光熱水費	33,200,000	光熱水費	33,788,047		使用料・賃借料	731,547	使用料・賃借料	631,189			
		事業費	121,420,822	事業費	110,259,630		修繕費		修繕費				
		事務経費	55,874,436	事務経費	55,904,861		工事請負費	71,790,400	工事請負費	88,000,000			
		本社経費		本社経費	0		備品購入費	2,530,000	備品購入費				
		その他	0	その他	0		その他	20,000	その他	396,700			
				利益配分	3,438,000		計	452,637,075	計	447,752,163			
	支出計	490,593,744	支出計	477,298,874									
	指定事業損益	17,256	指定事業損益	6,385,703									
	利益配分を除く 指定事業損益	17,256	利益配分を除く 指定事業損益	9,823,703									
	自主事業	収入		収入								17,100	
		支出		支出									
		自主事業損益	0	自主事業損益								17,100	
	損益	17,256		6,402,803	差引	-415,163,608		-408,585,286					
	人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									33.2%			
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由												

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			職員数32名(28名 87.6%) ・常 勤 理事長1名(1名)、職員23名(19名) ・非常勤 嘱託・パート8名(8名)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☑		
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑		
		2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

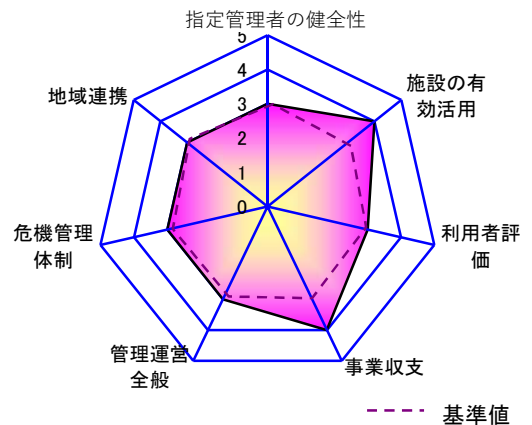
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。 協定内容・指定管理者提案 追加された内容、未実施の内容及びその理由 ・地元雇用、地元事業者の活用に努める。また、舞台芸術等の専門職員との役割分担を明確にした上で、積極的にアウトソーシングを行う。 ・長野県公立文化施設協会に加盟している県内ホール相互での情報共有や、公演チラシの配布など連携に努める。 ・新たに市内観光地の活用や観光誘客イベントとの連携による公演などの実施による交流の促進と、劇場とまちがつながる「まち☆ハブ事業(仮称)」に取り組む。	3

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	3	6	68
事業収支	4	16	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	



評価理由	【施設の有効活用】 ・前年度より総利用件数は347 件増の8,243 件、総利用者数は8,977 人増の178,900 人、施設稼働率(全施設平均)は0.3 ポイントの上昇の75.3%となり、稼働率・総利用件数ともに過去最高を更新したことから、評価を4とした。 【事業収支】 ・国の補助金収入が皆減し、支出の人件費や委託費が急増する中、時間外手当のほか、広告費等の主催事業の見直しによる減など、支出削減に努め、良好な収支を確保したことから、評価を4とした。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題 ・効率的かつ効果的な改修計画を検討する。 ・引き続き市民のニーズを調査しながら、多くの市民に足を運んでいただける事業を展開する。	改善状況 ・芸術館舞台音響設備更新工事を行った。 ・「鈴木優人×村治佳織×読売日本交響楽団」、「昭和百年記念昭和歌謡祭」などの大型主催公演のほか、KIDS Meets Arts プロジェクトの一環として、子どもから大人まで楽しめる「レ・フレール バギ・ウギ・ライブ」などの新規公演を開催した。	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・「育む、楽しむ、創る、つなぐ」の4つの事業コンセプトの下、「文化芸術でさらにこころ豊かで幸せなまちに～ここから つながる～」をテーマに、「ホールの特性や市民ニーズに応じた鑑賞事業」、「市民自らが主役となる事業」、「質の高いサービスの貸館事業」、「劇場とまちがつながる事業」を展開するとともに令和8年度は開館10周年記念の特別事業を実施する。 ・開館から10年が経過し、舞台機構や舞台照明、舞台音響等の耐用年数が近づいている設備について、計画的に更新・改修を行うため、引き続き指定管理者とともに効率的かつ効果的な改修計画を検討する。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

ア 主催事業

(ア)鑑賞事業

継続公演として、「水曜日のまのクラシック・リサイタルシリーズ」、「長野市芸術館ジャズ・フェスティバル」など、当館ならではのオリジナルプログラムを提供しました。そのほか、公演事業として「長野市芸術館 落語祭」、「鈴木優人(指揮)×村治佳織(ギター)×読売日本交響楽団」、「ジェイコブ・コーラー ソロピアノ JAZZ コンサート」、「昭和100年記念 長野市芸術館 昭和歌謡祭」など、様々なジャンルを取り入れ、幅広い客層にも興味を持っていただけるような公演を開催しました。

また、訪問コンサートやホールでの無料公演事業として、芸術館での「ランチタイム・ピアノ・コンサート」や「ロビー・コンサート」のほか、ハイブリッドバンドEverlyによる「学校訪問コンサート」、長野県内出身の若手プロ奏者12人による「NAGANO12訪問コンサート」、SBC信越放送や長野県立大学などの市内各地を会場とした「お届け芸術館」を開催し、市民が無料で気軽に音楽を鑑賞できる機会を提供しました。

加えて、長野市の将来を担う子どもたちに文化芸術に触れる機会を提供するため、「KIDS Meets Artsプロジェクト」を実施しました。0歳から入場可能な「音楽の絵本 CALYPSO カリプソ」や「レ・フレール バギ・ウギ・ライブ in Nagano」をはじめ、鑑賞事業・参加型事業あわせて9事業(20公演)で子供向けの内容を実施し、子どもたちが気軽に文化芸術に親しめる機会の創出に努めました。さらに、協賛金を活用し、様々な理由により公演に来ることが難しい家庭・子どもたちに向けて、市関係部局と連携して招待チケットを提供する「ARTS ANGEL TICKET事業」を実施し、来場者数193人(こども107人、おとな86人)にご参加いただきました。

(イ)参加型事業

第3期指定管理事業方針の「ここからつながる」をコンセプトに、「スーパー・ウィンド・オーケストラ with NAGANO12」や「長野市芸術館ジュニア合唱団」の運営など、市民自らが主役となる参加型事業に積極的に取り組みました。

イ 貸館事業

(ア)貸館サービス事業

今年度の総利用件数は8,243件で昨年度から347件増加し、総利用者数は178,900人で昨年度から8,977人増加しました。施設稼働率(全施設平均)は75.3%となり、昨年度と比較して0.3ポイントの上昇、稼働率・総利用件数ともに平成28年の開館から最も高い数値となりました。また、平日の稼働率の向上のため、ステージ体感プランを継続実施しました(利用者:メインホール5人、リサイタルホール49人)。

(イ)施設管理

安全性や利用者の快適性に配慮した施設の修繕を実施しました。また、災害発生時の利用者の安全を確保するため、長野市内で震度6弱の地震が発生したことを想定し、全部署の職員参加のもと、リサイタルホール内にて、来場者の避難誘導を含めた「防火・防災訓練」を実施しました。

ウ 劇場とまちがつながる事業

(ア)観光地やイベントとの連携による交流事業

「戸隠神社 中社本堂」「長野市議会議場」など、観光地や普段立ち入ることのできない公共施設で演奏を行い、音楽を通じた交流の場を提供しました。

(イ)まち☆ハブ事業

アーティスト、長野市の学生及び企業・街とのつながりを創造する情報誌として、「Knot&(ノットアンド)」のNo.2、No.3を発行しました。長野県立大学、清泉大学、長野短期大学及び長野青育学園の学生が「お届け芸術館」の開催に合わせて、出演アーティストとまち歩きや企業訪問を行い、インタビューする様子を発信しました。

(ウ)SNS等を活用した広報活動

長野市芸術館の情報を、SBCラジオでは週1回、FM長野では月2回の枠を設け放送し、市民へ長野市芸術館の魅力を発信しました。また、公演情報記載の新聞折込チラシを年2回発行したほか、長野市広報部局と連携し、FMぜんこうじや広報ながので情報発信を行いました。加えて、SNSを活用したPRとして、ジョブキッズしんしゅうと連携し、「舞台をつくるしごと」の紹介動画をアップするなど、市民の長野市芸術館の認知度向上に努めました。

② 業務の効率化に対する取組み

職員による他ホールへの視察・研修を推奨し、自己研鑽の機会の充実に努めました。他ホールでの取組等を学ぶことで、広い視野をもった施設運営に努めています。また、令和6年度よりグループウェアを導入するなど、業務効率化しDX化を進める取組を実施しています。

③ その他

ア 共催・協力事業

「長野市文化芸術祭」や「長野県ピアノコンクール」など人材育成及び普及を目的とした公益性が高い事業を対象に、長野市をはじめとした文化芸術団体等の事業を支援しました。また、外部の主催事業者等と連携し、より多くの市民に楽しんでもいただけるよう舞台「大誘拐〜四人で大スペクタクル〜」やウクライナ国立バレエ「ジゼル」など、幅広いジャンルに対応した事業に共催・協力しました。(共催23事業、協力2事業)

イ 協賛パートナーの獲得

年間協賛パートナー及び事業協賛パートナーとして、多くの企業からご支援をいただきました。当芸術館の活動を広く周知し、協賛企業との関係を深めるため、報告書「リポート to パートナース」を定期的に発行するとともに、協賛企業向けにポスターや認定証の配布を行いました。

また、次年度の協賛ポスター及び認定証の作成にあたり、学校法人クリエイティブA 長野美術専門学校と協定を締結し、職業人材育成の観点からデザイン制作に協力を得ました。

さらに、協賛企業を対象に実施したアンケート調査では、協賛メニューについて約80%の企業から「満足」との回答をいただきました。また、協賛活動を通じて企業イメージや社会的認知度の向上を実感しているとの回答も約50%に上り、地域文化芸術活動への参画が企業価値の向上にもつながっていることがうかがえました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・開館から10年目を迎え、舞台設備(舞台・音響・照明)の耐用年数が過ぎているものが散見されます。計画的な改修・更新が必要です。
- ・空調設備などの機器の故障が増えてきており、今後故障箇所によっては、運営が困難になることも考えられるため、計画的な改修・更新が必要です。
- ・引き続き市民のニーズを調査しながら、多くの市民に足を運んでいただける事業展開を図ります。
- ・光熱水費や人件費、修繕費、業務委託料等のコスト上昇分を、指定管理料へ適正に反映していただけるよう検討をお願いします。
- ・お客様の満足度の向上のため、市役所第一庁舎1階の喫茶店等の土日営業について、庁内での検討をお願いします。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・貸館の稼働率および総利用件数が開館以来最高の実績となり、高い満足度得られたことを評価しました。
- ・市民ニーズに応じた多様な公演を実施したことに加え、「KIDS Meets Arts」プロジェクトや「まち☆ハブ」事業など、取組を展開し、幅広い世代に親しまれる事業を行った点を評価しました。
- ・地域と関係を深め様々な企業等からご支援をいただくため、報告書「リポート to パートナース」を定期的に発行したほか、協賛企業向けポスターの発行などの営業を行った結果、令和6年度と比べ年間協賛社数が1社増え、過去最高の協賛社数となったことを評価しました。

② 次年度以降の取組み

・第3期指定管理の3年目として、テーマに掲げた「文化芸術でさらに心豊かで幸せなまちに～ここから つながる～」に沿い、3つのホールの特性を活かした創造的で多様な事業に取り組みます。また、第3期指定管理の新規事業として立ち上げた「KIDS Meets Artsプロジェクト」を継続し、長野市の将来を担う子どもたちの未来を育む事業に取り組みます。

・令和8年5月に開館10周年を迎える節目の年となることから、これまでご利用・ご来館いただいた皆様や事業関係者の皆様への感謝の意を表すとともに、10周年にふさわしい記念特別事業を実施し、さらなる認知度の向上と市民の文化芸術活動への機運の醸成を図ってまいります。

・公演事業の10周年記念としては、質の高いオーケストラ公演の拡充とジャンルの幅の拡大を図り、著名な指揮者や日本を代表するオーケストラを招聘し、長野市芸術館オリジナルの公演を実施します。また継続公演についても、事業規模を拡大し、子どもたちと一緒に歌える新曲を委嘱するなど、次の10年を見据えたシリーズ公演・継続公演の拡充を行っていきます。加えて、市民参加型の公演事業では、10周年記念として、よりプロとアマチュアの交流が図れるよう、プロのオーケストラを招聘するなど事業規模を拡大して実施いたします。

・貸館事業の10周年記念としては、ホールの空き日を練習や撮影等にご利用いただく「ステージ体感プラン」を10周年記念特別プランとして、継続的に実施し、施設の有効活用および宣伝効果を図ります。また、10周年記念事業として、各施設を利用される方々へ利用料金の割引を実施し、これまでご利用いただいたことへの感謝と長野市芸術館の認知度の向上を図ります。

・そのほか開館10周年という節目を記念し、以下の記念事業の取組を進め、長野市芸術館のPRを行います。

ア 館内・屋外10周年装飾の実施

イ 10周年記念グッズ(ノバルティ)の制作・配布

ウ 協賛社招待コンサートの開催

エ 10周年記念誌の作成

オ 第三者評価の実施